認知行動療法 土曜日に！

養南新聞
発行所
社会医療法人緑峰会
養南病院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎〈0584〉57-2511
Fax〈0584〉57-2513
http://www.younan.or.jp
younan@ogaki-tv.ne.jp

卓球シリーズ2016 マーチトーナメント
3月10日（木）デイケア
★荒れる春場所　波乱は必至★

平日休めない人にも

現在月曜日と木曜日に行われている認知行動療法（CBT）が、この4月から土曜日にも行われる見通しであることが運営委員会より発表された。

気分障害や不安障害の治療として27年1月から行われているCBTだが、仕事をしながら平日に毎週参加するのは困難であり、土曜もしくは日曜の開催を望む声が増えていた。今回の決定はこうした声に応えた格好だ。

チームリーダーの有馬新路病棟課長は「これまで約75人が受講し成果を挙げている。土曜日開催になることでより多くの人が利用してくれれば」と話した。

＊認知行動療法（CBT）
…認知（ものの受け取り方、考え方）に働きかけて気持ちを楽にする精神療法の一種

◆モデル病院の取り組みを発表

2月4日（木）、岐阜県医療勤務環境改善研修会がふれあい福寿会館で行われ、県内6つのモデル病院がその取り組みを発表した。当日の会場は約200人が参加する大ホール。発表の大役を任された小寺公彦委員は、「とても緊張しました。この状況こそ改善してほしかったです」と汗だくになりながら話した。

小寺係長

みかルんの病院ミシュランガイド「マッサージチェア」

ストレスケアセンターのマッサージチェアが新調されたような。その名も『くつろぎ指定席』くつろいでる？神崎係長？「くつろいでいる時間はありません。患者様用のくつろぎ指定席です。」なになに？『もみ心地、新感覚。心地良さを追求する新メカ搭載』とのことのような。

「手動コースではマッサージ機能が71種類もあるらしいです。かなり良い物を入れていただいたと思います。」

へ～。エアーマッサージで足先までマッサージしてもらえるような。ちょっと試してみたいような？

「…ご自由に。」

あ…チェアーにお尻がはまらないような。

「一応人間用に出来てますから。」

人間専用スモールからラージ体型まで対応型のくつろぎ指定席…今回の期待度星2つ★★

「…全然くつろげないような」

◆勉強会

2月15日（月）、22日（月）、今年度の看護研究発表が行われた。北病棟の安田吉宏係長は「療養病棟における長期入院患者の現状と課題」と題し、患者及び家族に実施した退院にまつわるアンケート調査をもとに報告。西病棟の佐藤廉看護師は「統合失調症患者に病気の理解を促す介入」と題し、心理教育後の看護師によるアフターフォローの重要性について報告した。

安田係長

佐藤看護師

◆家族教室

2月21日（日）、統合失調症の家族教室が行われた。講師を務めたデイケア課の和田祐己係長は、実例を挙げながら「夢を実現するためには小さな目標を立て、小さな一歩を積み重ねていくことが必要」とデイケアの重要性を強調した。

◆3月の家族教室

第一部：
「ストレスケアセンターの紹介～さまざまな入院治療について～」
講師：有馬新路看護課長
　　門脇真司作業療法士

第二部：懇談会
日時：3月13日（日）
　　14時～16時
場所：デイケアセンター
対象：気分障害
　　患者様のご家族

食へのこだわり

「粉もん物語」

「高下さんはもう少し大きい声でね」また課長に叱られた。引っ込み思案の私だけど今はこれがある。調理師高下智絵はゲレンデにいた。今年始めたスノーボード。これが3回目だ。今日は雪質がいい。パウダースノーというやつだ。パウダー？…粉…粉もん…！今度の関西うまいもん企画は粉もんだ！

その日患者さんを前に声を出してみた。

「おおきに！」「もっとどぎょうさん食べてや！」「二度づけ禁止やで！」できるだけのことはやった。私も変わらなきゃ。

「高下さん、あなた…」

課長の丸山の目が潤む。

「大垣出身でしょ」

「ヨネスケ　ちゃうよ～」

ルンルンみかルん

デイケア　全悠OPで波乱

2月2日（火）、卓球シリーズ第2戦「全悠オープン」が開催された。熱戦が繰り広げられる中、決勝に駒を進めたのは関谷院長ら強豪選手を次々と破った林寛さんと、今回飛び入り参加の実習生、藤本祥尚さん（愛知医療学院短大）。フルセットの末、優勝したのはなんと藤本さん。「緊張したけど皆さんの応援で勝てました！」と爽やかに優勝インタビューに応じたが「空気を読むように」といつも全力の関谷院長から負け惜しみの指導が入った。

全悠オープン結果
〈優勝〉藤本祥尚（実習生）
〈2位〉林寛　〈3位〉岡田馨志

「院長が絶対勝てって言うから頑張ったのに‥ひどいや」

卓球シリーズランキング（2月2日時点）

1位 岡田馨志	400P
2位 林寛	370P
3位 YAYOPY	235P
4位 A.M	230P
5位 森真澄	210P
6位 SMAP LOVE	180P
7位 春日孝文	180P
8位 鈴木孝恵	180P

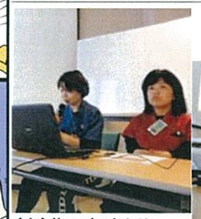
デイケア　恵方へ幸福を願って

2月1日（月）、一足早い「節分お楽しみ会」が行われた。前半は手作りした恵方巻きをただただ無言で食べ続けるというシュールな時間を過ごす。後半はスタッフやメンバーが鬼のカツラをつけて豆まきにちなんだゲームで盛り上がった。そんな中、和田祐己係長はなぜかタイの被り物を迷わず手に取り「ギョギョギョ！」と奇声をあげながらゲームに臨み、誰よりもはしゃいでいた。

「ギョ！ ギョギョ！　んギョギョギョ！」

◆OT活動報告会

1月25日（月）、2月1日（月）、作業療法課がこれまでの取り組みをまとめた活動報告を行った。西病棟担当の門脇は個々を観る大切さを、気分障害と統合失調症に分けて説明。南病棟担当の新川は退院支援について述べた。北病棟担当の佐々木は終末期リハビリテーションについて触れ、最後までその人らしさを発揮するための関わりを話した。最後に北病棟担当、東灘が長期入院患者の症例を交え、改善例等を述べた。


（左）佐々木 ゆかり
（右）東灘 エミ

（左）門脇 真司
（右）新川 麻貴

羅笑門

今月は係長に就任した相談課の澤田真名美さんを紹介します。

Q いやぁ係長！澤田係長！就任おめでとうございます！当院もまた新しい風が吹いてめでたい、めでた…い？

A ……。

Q（何か怒ってるんですけど…）係長！せっかくなんで意気込みをドーンと！

A だ・か・ら！その係長ってのはやめてくれません？確かにワタシャー成りましたよ！でもスタンス的には今まで通り！

上司・部下みたいなのはヤーヨなんよ！だからせめて…せめて今まで通りの呼称で…呼称で…！

Q りょ…了解しました。でもせっかくの羅昇門なんで…

A ちょっと待って！「しょう」の字が「昇」になってる！昇→昇進→係長→呼称が変更→私が調子こいてると皆思う→皆ワタシと距離ができる…それから→…

Q どこまで行っちゃうんですか？大丈夫ですか！澤田さん！

A ……ふぅ～取り乱しました…。責任ある立場になり、より一層みんなを引っ張っていきます。でも基本的なところは皆の知ってる真名美だからネ！

◆学生さんの声

＊当院で実習中の学生さんに感想を聞いてみました。

伊藤美和さん
（サンビレッジ国際医療福祉専門学校）

「美味しい給食のおかげで実習が楽しいです。」

＊我々も給食が楽しみです。

川口由芽乃さん
（平成医療短大）

「病院が広くて、迷子になりそうでした。」

＊我々も時々迷子になります。

◆鬼はうち、福もうち

2月3日（水）、北病棟にて節分の豆まきが行われたが、鬼役が足らず、急遽「総務のやさ男」渡邊龍謙さんが駆り出されることに。「鬼になるのも総務の仕事のうちです」と張り切って登場したが、実際に豆をぶつけられると「優しく投げて」と一転弱腰に。鬼にはなりきれなかったようだ。

イケメン(?)の鬼2人
「副業っス！」

◆絵本を寄贈　光野さん

オレンジハイツスタッフの光野雄二さん（64）が震災を題材にした絵本を市内の小中学校、図書館に贈っていたことが2月4日（木）の中日新聞で判明した。

新聞みるまで誰も知らず

職員からは「見かけによらずいいとこあるやん」との声が聞かれた。

◆寄付金に感謝状

また同じ日、おいでんさい祭の売上金約14万円を寄付したことで、岐阜県共同募金会より法人に感謝状が贈られた。病院幹部からは「こっちは新聞に載りませんでしたが」と少し淋しい声が聞かれた。

養南珍百景

雪が積もると登場するこの珍妙な乗り物。軽トラックにブルドーザーのようなブレードを装着している。施設管理課の岩山登課長は「長野県の業者から16万で取り寄せました。結構使えますよ」と話すが、段差や坂道では使い物にならないとのこと。このチープさがマニア心をくすぐる。

勝手にカスタマイズ